

中区では、外国人住民と日本人住民が共により良く暮らすために「中区多文化共生推進アクションプラン」を推進しています。多言語広報紙では、行政情報や暮らしのルール、社会の制度など生活に役立つ情報を英語と中国語でお伝えしています。

中区多言語広報紙
英語版 中国語版

なか区のこと

住んでいるまちのことを知って、楽しいこと、面白いこと、好きなことを見つけてみよう！



[消防局航空隊撮影]

中区のあゆみ

- 約400年前、関内駅の辺りは海でした。
- 1859年の横浜開港は、この地にとって大きな出来事でした。
- 1889年に横浜市が誕生した時の範囲は関内とその周辺でした。
- 中区は、1927年に区制が敷かれ誕生しました。

中区には、横浜の興味深い歴史がたくさん詰まっています。

また、中区が国際色豊かなまちになったのも、開港以来のあゆみと大きな関係があります。

日米和親条約締結の地

▶記念碑

▼開港時からまちを見守り続ける玉楠の木



1854年、鎖国をしていた日本が開国することを決定した和親条約は、今の横浜開港資料館（P2参照）の近くで結ばれました。

1859年に横浜は開港し、外国人居留地、日本人町、波止場などが設けられました。山手には、外国人居留地の面影を残す洋館などがあります。



ベーリックホール

▲イギリス人貿易商邸宅として1930年に建築

ガス灯

▶馬車道にある復元されたガス灯



開港によって、横浜にはそれまで日本になかった初めてのものが次々として入ってきました。



西洋理髪

▲山下公園にあるザンギリ頭の記念碑

中区のトピックス

中区の花 チューリップ

区制70周年（1997年）に選定



横浜公園では約12万球のチューリップが3月下旬から見頃を迎えます。

中区マスコットキャラクター スウィングー

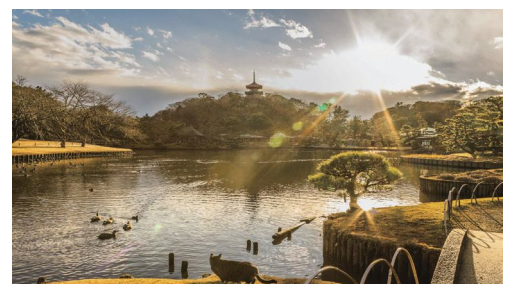
区制80周年（2007年）に誕生
カモメの「スウィングー」は、生まれも育ちも大さん橋。



イベント好きで、ちょっとした集まりにも顔を出したりします。

中区の魅力を発見・発信

中区って「イネ！」フォトコンテスト2021
金賞「三溪園と猫」



2022年度も実施予定。みなさんも応募してみませんか？

国際色豊かなまち、中区

！開港の頃から色々な国の人が暮らし、現在は区の人口の約1割が外国人です

区別外国人数及び比率（上位3区）

順位		外国人数	総人口	比率
1	中区	15,430	150,175	10.3%
2	鶴見区	13,398	295,377	4.5%
3	南区	10,393	197,273	5.3%
	横浜市	98,893	3,768,902	2.6%

※横浜市統計情報ポータルより

※外国人数は2022年1月末時点、総人口は2022年2月1日時点

国・地域別外国人数及び増加率（上位10か国・5年前比）

順位	国・地域	外国人数		増加率
		2022年1月末	2017年1月末	
1	中国	8,541	9,048	▲6%
2	韓国	1,936	2,138	▲9%
3	台湾	739	737	0%
4	フィリピン	714	700	2%
5	ベトナム	615	360	71%
6	米国	544	554	▲2%
7	タイ	314	315	0%
8	インド	233	270	▲14%
9	ネパール	227	174	30%
10	英国	166	211	▲21%

※横浜市統計情報ポータルより



子育てしながら地域の活動にも参加中！

～アンジェラさん（オーストラリア出身）に、中区での生活や、まちの好きなのところを語ってもらいました～

8年前に来日し、子育てに忙しい毎日を送っています。なか国際交流ラウンジの日本語教室に参加したのをきっかけに、中区多文化フェスタへの出展や、ラジオの防災用の英語の録音など、中区で行われている活動にも少しずつ参加してきました。

今は、地域ケアプラザ（P4 参照）からお話があり、地域のグループに英語を教えています。本国では教師の資格を持っていたので、ここでみなさんの学習のお手伝いができることに、やりがいを感じます。

まだ子どもが小さいので、時には疲れたり、社会とのかわりが薄くなって寂しくなったりすることもあります。地域に出ることで、やる気が出て、嬉しくなり、ここでの

生活を、より楽しく感じることが出来ます。

このまちは、きれいで居心地が良いので、安心して子育てをしながら暮らすことができます。また、中華街や桜木町周辺など、いろいろなシーンに応じて楽しめる場所があるのも良いですね。

これからも、家族との時間を大切にしつつ、地域の中で自分ができることを見つけていきたいと思っています。



！ イベントも国際的です ※行事名【開催日／主な会場】

- ・横浜中華街「春節」
【中国暦元旦／中華街】
- ・ざよこはまパレード（国際仮装行列）
【5月3日／山下公園～伊勢佐木町】
- ・2022 ワールドトライアスロン・パトトライアスロンシリーズ横浜大会
【5月14・15日／山下公園周辺】
- ・中区多文化フェスタ
【毎年秋ごろ開催】
- ・ワールドフェスタ・ヨコハマ
【10月／山下公園】



▲外国人と日本人が交流する場、中区多文化フェスタ

この他にもアイルランド、アフリカ、フランス、ドイツ、インド、など世界各地のイベントがあります！

※イベントは恒例の内容を参考に掲載しています。状況により中止・変更になる場合があります。事前に確認してください。

・ ・ 中区の歴史を探しに 出かけたら ・ ・

■ 外国語版マップ

よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図
中区の「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑を巡る地図



■ 横浜山手西洋館マップ

緑豊かな道や歴史的な洋館を散策するときに便利な地図



■ 横浜開港資料館

文書や写真、浮世絵など横浜の歴史がわかる資料を見ることが出来る施設



問合せ先の応答について特に記載のないものは、日本語での対応になります。

新型コロナウイルスワクチンの 3回目接種が始まっています

すでにワクチンを2回接種した人には、順次3回目接種の案内が届きます。接種を希望する人は、予約専用サイトやLINE等で予約を取りましょう。ワクチン接種に関する情報は日々更新されるので、最新の情報については横浜市ウェブサイトで随時確認してください。

▶まだ2回打っていない人

追加接種の案内が届きませんので、接種を希望する場合、接種券の再発行が必要です。コールセンターに連絡してください。

<横浜市新型コロナウイルス

ワクチン接種コールセンター

お問い合わせ用 TEL: 0120-045-070

予約用 TEL: 0120-045-112

いずれも9:00~19:00(土・日曜、祝・休日含む)

対応言語: 日本語、英語、中国語、韓国語、

ベトナム語、ネパール語、

スペイン語、ポルトガル語>

市営住宅・県営住宅の入居者募集

市営住宅・県営住宅は比較的安い家賃で住める公営住宅です。募集時期に区役所1階総合案内で申込書付きの案内(日本語)を配布します。募集する住宅の内容、応募条件などが載っています。

・市営住宅 4月13日(水)~4月22日(金)
TEL: 045-451-7777

・県営住宅 5月中旬~6月初旬募集予定
TEL: 045-201-3673

[特定非営利活動法人

かながわ外国人すまいサポートセンター]

日本に住む外国人の住まいや生活について、英語や中国語、やさしい日本語など10言語で相談を受けています。

住所 : 中区常盤町1-7 横浜YMCA 2階
電話 : 045-228-1752

受付時間: 月~金曜 10:00~17:00

国民健康保険に加入している人へ

▶特定健康診査の受診券を順次送っています
40~74歳の人に生活習慣病を早期発見するための検査を受けられる受診券・問診票を送ります。検査は無料です。ぜひ早めに受診してください。受診できる医療機関のリスト(日本語)も同封しているので、予約は自分で直接、医療機関にしてください。母語の通じる医療機関を知りたいときは、なか国際交流ラウンジ(TEL: 045-210-0667)へご相談ください。

▶2022年度国民健康保険料額決定通知書を6月中旬に送ります
1年間分の保険料(4月~翌3月)を計算した保険料額決定通知書を送ります。年10回に分けた納付書が6・7・10・翌1月に送付されるので納期限までに納めてください。
<中区役所保険年金課 TEL: 045-224-8315>

児童手当の現況届の提出は6/30まで (対象者のみ)

現況届の提出がない場合は、6月分以降の手当を受給することができなくなる可能性があります。必ずご提出ください。書類は6月上旬に郵送でお送りします(日本語)。

<中区役所子ども家庭支援課
TEL: 045-224-8198>

犬を飼っている人へ

犬の飼い主には飼い犬について、生涯1回の登録と、年1回の狂犬病予防注射の接種及び接種済みの届出を行うことが法律で義務付けられています。

▶飼い犬の登録

犬を飼ったら30日以内(子犬の場合は生後90日を過ぎてから30日以内)に登録を行ってください。登録手数料は1頭3,000円です。登録時に交付される「鑑札」は犬の登録を証明するものです。引越しても移転先の自治体での手続きに使うので、なくさないようにしてください。

▶狂犬病予防注射

予防注射は動物病院で受けることができます。注射を受けたら、獣医師が発行する「狂犬病予防注射済証明書」を持って区役所へ届け出てください。狂犬病予防注射済票交付手数料が1頭につき550円かかります。(鑑札と注射済票の交付ができる動物病院もあります。)

▶犬を散歩させる時の注意

・犬には必ずリードを着けてください。公園や道路などでリードを外してはいけません。
・散歩中にフンをしてしまったら必ず持ち帰り、おしっこは水で流してください。

<中区役所生活衛生課 TEL: 045-224-8339>

知ってほしい!日本の文化

梅仕事



6月になると店頭で梅が並び、一般の家庭でも梅仕事をすることがあります。梅仕事とは、梅と一緒に必要な材料を保存容器に入れて漬けることで、梅干しや梅酒、梅シロップなどを作る作業です。完成まで梅干しは数週間、梅酒は3か月以上かかりますが、できたものは長期保存ができます。

梅にはクエン酸が含まれていて疲労回復に効くほか、食欲増進効果もあるので、食欲がなくなりがちな日本の蒸し暑い夏を乗り切るにはもってこいです。少し手間と時間はかかりますが、自分で作ったものは格別の美味しさですよ!

国際サービス員 区役所2階22窓口
(中国語)8:45~15:45 (英語)10:00~17:00

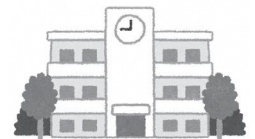
区役所業務の案内、窓口での通訳、諸証明を取るときの申請書の記載サポートなどを行います。日本語での手続きが不安な人は、声をかけてください。

これがわからない! Q&A



子どもを学校に入れたいけど、どういうところがありますか?

→ 日本国籍でなくても、日本語が分からなくても、公立学校に入れます。他にも、私立学校、インターナショナルスクール、特別支援学校もありますよ。どのような環境で学びたいか、親子で一緒に選択肢を広げて考えてみましょう!



公立学校

小中学校には学区があり、どの学校に入れるかは原則として決められています。国際教室がある学校が多く、呼び寄せられて来日した生徒も多数在籍しているのは中区ならでは。高校には入学試験があるので注意が必要ですが、一部の県立高校には外国人等特別募集もあります。

私立学校

学区にとらわれずに学校を選ぶのがメリットです。中高一貫での教育や、よりきめ細かな指導を望む場合は検討してみましょう。入学試験に際して、一定の条件のもと、帰国子女のための枠を設けていることも。中学で受検する場合と、高校で受検する場合とがあります。

インターナショナルスクール

区内に計4校あります。外国につながる生徒が多く、授業の言語は学校によってまちまちです。授業内容や進め方も他の学校とは大きく異なることがあるので、詳しくは各学校にお問い合わせしましょう。



アートな写真をたのしむ



ちょっと出かけて
みませんか

映える写真を撮りたい！とカメラを構える人のために。中区のフォトスポットは大さん橋や山下公園だけではなく。「これどこで撮ったの!？」と言ってもらえるような場所を紹介します。撮影をするときは、感染症対策にご協力ください。



♥ 天使の羽

↑ MARINE & WALK Yokohama

映え ★★★
定番 ★★★

もはや SNS の定番、天使の羽。実は、日本初の正式な天使の羽の撮影スポットはここ！あなたならどうやって写りますか？人気のスポットなので、撮影は譲り合ひましょう。敷地内には他にも SNS 映えスポットが多数あります。



♥ かもめハーフ

↑ 赤レンガパーク

映え ★★★
定番 ★☆☆

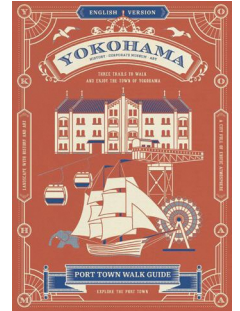
港町・横浜らしい、かもめのアート。赤レンガパークにもパブリックアートがあるのを知っていましたか？大さん橋に大型客船が停泊しているときを狙うとより写真映え！パブリックアートは、みなとみらい 21 地区だけでも 60 以上あります。



♥ ペリコ

♥ 「横浜・みなとの街歩きガイド」英語版を順次配布！

フォトスポットのほか横浜港の歴史など、みなとの情報が詰まっています！スパゲッティナポリタンは横浜発祥グルメ？答えは→



中区に暮らす外国人が発見 日本の暮らしと文化

日本の小学校での生活



中区に引っ越して来たばかりの時は、色々な心配事がありました。その内の一つは子どもの小学校に関することでした。「どのような雰囲気の小学校かな?」「娘は学校でうまくいくかな?」多くの不安を抱えたまま、娘の小学校生活が始まりました。

学校に通い始めると、娘の通っている小学校はとてもグローバル化していることがわかりました。同じ学年には中国、フィリピン、韓国、ブラジル、ベトナム、フランス、オランダなど、様々な国から来た児童がいて、そんな環境にみんな慣れているようです。学校側も、外国につながる子どもたちに国際教室で日本語を教えたり、授業内容を説明してくれる付き添いの先生をつけてくれたり、とても細やかな対応で、早く学校の勉強と生活に慣れることができるよう、全力でサポートし

てくれます。高学年になると、2つ以上の言語を話せる児童は自然と担任の先生を手伝う立場になります。今年小学校を卒業した娘は、3年生から4年間、喜んでこの役割を果たしました。「これは中国語でなんて言うの?」と時々クラスメートに聞かれて、娘が教えてあげると、新しい言葉を知れたととても喜ぶようです。

娘にとって放課後の一番の楽しみは、近所の公園で遊ぶ時間でした。同じ学年の子たちと一緒に遊べて、娘はとても楽しそうでした。娘がこのように楽しく、充実した生活が送れたのはすべて学校のお陰です。学校に心から感謝しています。

(なか国際交流ラウンジ中国語スタッフ)

活用してね!
みんなが使える施設



地域ケアプラザ



高齢者、子ども、障害のある人など誰もが地域で安心して暮らせるよう、身近な福祉・保健の拠点としてさまざまな取り組みを行っている、横浜市独自の施設です。中区内には6箇所あります。福祉・保健の行事・催しを開催したり、福祉・保健の専門員が無料で相談を受けたりするほか、高齢者デイサービス、障害者を支援するサービスなど、地域のニーズにあった様々な福祉・保健サービスを提供しています。



<多言語広報紙配布先を募集しています> 外国人の集まるお店や病院、機関など、ご希望があればお届けします。

次号は10月1日発行です